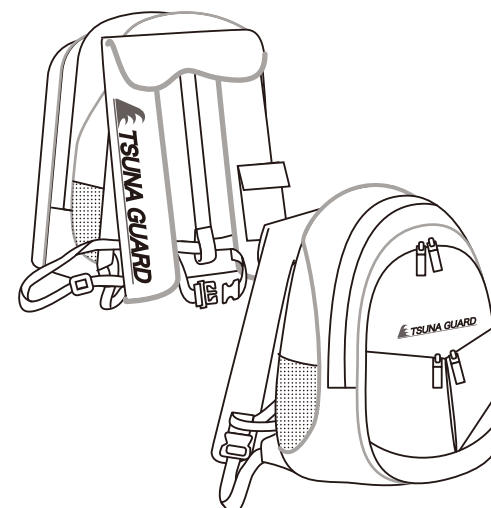


津波及び水難事故対策用  
リュック一体型ライフジャケット



**ツナガード**



成人男性用 [ TG-M1 ]  
成人女性用 [ TG-L1 ]  
子供用 ( 身長100~149cm )  
[ TG-C1 ]

## 取扱説明書

ご使用の前に必ずお読みください。

国土交通省型式承認 申請中  
特許庁 商標登録済 特許権・意匠権 出願済

# 1 安全上の注意点

## INDEX 目次

|                 |      |
|-----------------|------|
| 1 安全上の注意点       | p1   |
| 2 製品の概要と構造      | p2-3 |
| 3 着用方法          | p4   |
| 4 作動方法          | p4-5 |
| 5 自動ガス充填装置      | p6   |
| 6 点検            | p6   |
| 7 気室の収納方法       | p7   |
| 8 整備要項          | p7   |
| 9 保管方法          | p8   |
| 10 製品の買換え・修理の目安 | p8   |
| 11 自主点検チェックリスト  | p9   |

### 保証書（巻末）

このたびは、津波及び水難事故対策用リュック一体型ライフジャケット「TSUNA GUARD ツナガード」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品を長期間安全にご愛用していただくため、ご使用前に必ず本書をお読みください。本書に示した注意事項は、本製品を正しく安全にご使用いただき、着用者や他の方々への危害を未然に防止するためのものです。よくお読みになってこれらの注意事項を必ずお守りください。

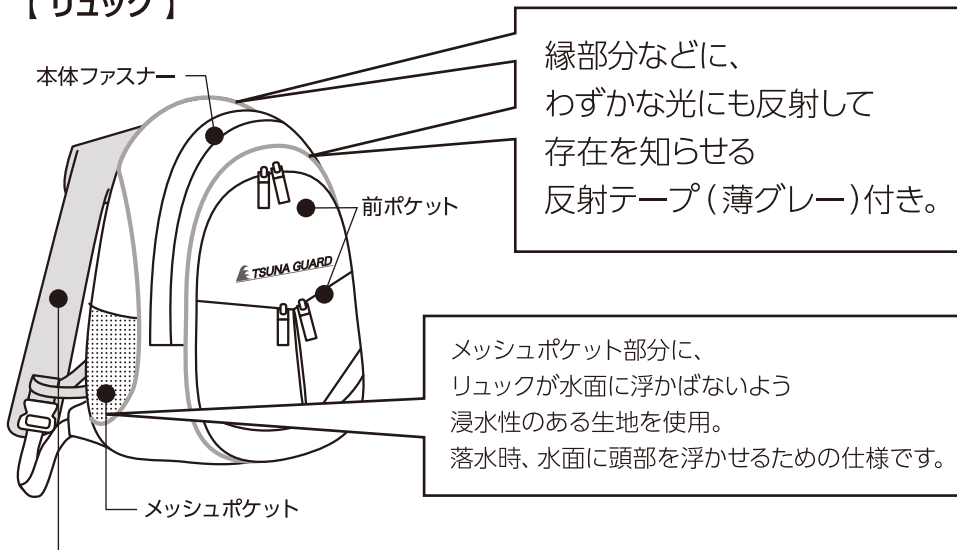


- 本製品[成人男性用][成人女性用]は身長150cm以上の方、[子供用]は身長100～149cmの方用です。身長100cm未満のお子様は使用しないでください。
- 本製品の耐荷重は[成人男性用][成人女性用]100kgまで、[子供用]70kgまでです（着用者の体重と荷物を合わせた耐荷重です）。それ以上の重量を収納したり、容量以上の無理な詰め込みをすると、救命具として機能しなくなる恐れがあります。
- ガス充填装置を作動させた場合は、再使用しないでください。一度作動させると炭酸ガスボンベ内のガスがなくなり再使用できません。交換の際は本取扱説明書P6を参照ください。
- 着用前、着用中は飲酒しないでください。
- 着用前に気室を傷つける恐れのある物、突起物、鋭利な物（ブローチ、ボールペン、安全ピンなど）は衣服から取り外してください。気室を傷つけ、使用できなくなる恐れがあります。
- 本製品はジェットスキー、水上スキー、小型ヨットなど、着用者が常に濡れている状況や高速を伴う活動では使用しないでください。
- 本製品は外衣として着用してください。着衣の下に着用すると、正常に膨張しなかったり、膨張時に胸などを圧迫して呼吸の妨げになる恐れがあります。
- 本製品は救命具としての機能を優先させるため、リュックの一部に浸水しやすい生地を使用しています。浸水により機能しなくなる恐れがある精密な機能をもつ製品などの収納は避けてください。書類や避難グッズなどは付属品の防水ケースに収納してください。
- 着用前にバックルなどの部品が壊れていないか、ベルトや本体の縫製が破れていないかを確認してください。着水時に本製品が脱げる恐れがあります。
- 本製品が膨張した状態で飛び込まないでください。やむを得ず飛び込む時は、着用したまま本製品を抱きかかえるようにして飛び込んでください。
- 使用後は、気室内のガスを完全に抜いてください。気室にガスが残っていると再び膨張させた時に気室が破裂する恐れがあります。
- 本製品に強い衝撃を与えたり、落下させないでください。救命具として機能しなくなる恐れがあります。
- 本製品は収納時に必ず点検し、災害時に備えて保管してください。
- 本製品の取扱時は火気厳禁です。気室はナイロンPVCで作られているため、火気に近づけると穴が開いて救命具として機能しなくなります。
- 車両内など高温多湿になる可能性のある場所で保管する場合は、必ずカートリッジと落水センサーを外して保管してください。
- 本製品は所有者が責任をもって1年に1回の自主点検を行ってください（総販売元を通じて定期点検（有償）することをおすすめします）。炭酸ガスボンベ、落水センサーはお買い上げから2年ごとを目安に交換してください。
- 本製品は絶対に改造しないでください。救命具としての機能を失う恐れがあります。

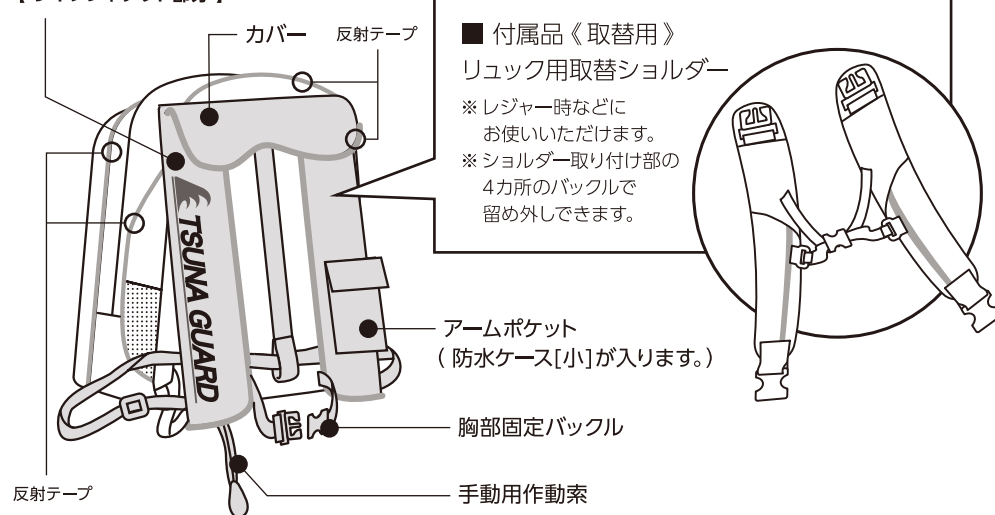
## 2 製品の概要と構造

本製品は、落水した時に水を感じし、自動的に膨張して水面に頭部を浮かせるものです。手動作用動索を引き、手動で膨張させることもできます。

### 【リュック】

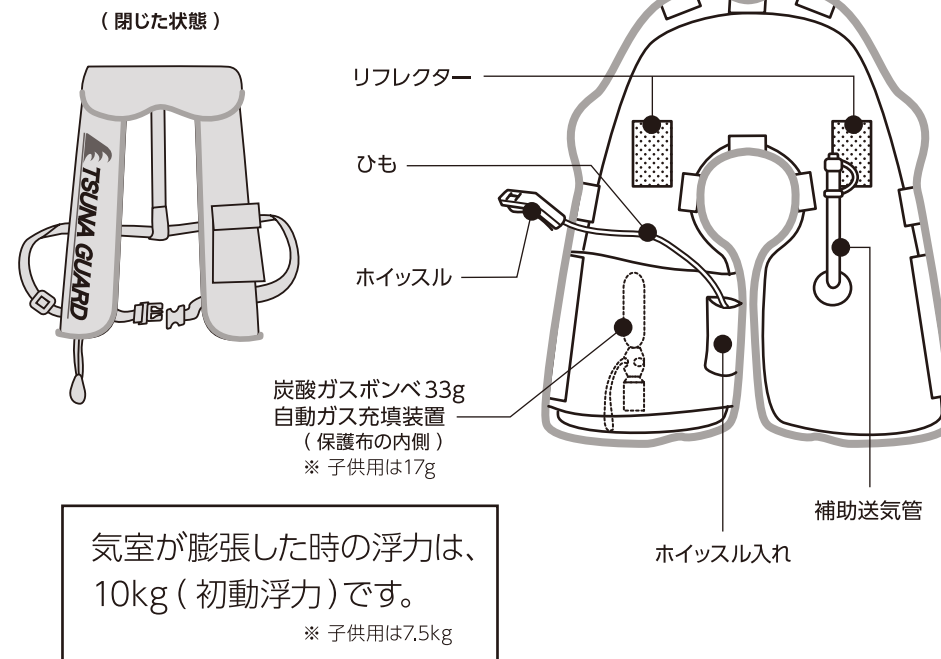


### 【ライフジャケット部分】



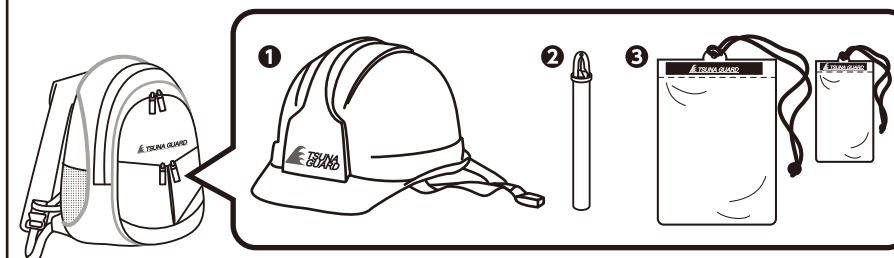
### 【ライフジャケット】

（開いた状態／気室部分）



### ■ 付属品

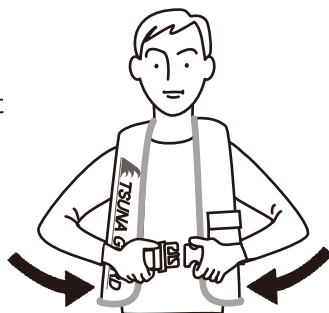
- ① ヘルメット1点（子供用は頭周が調節できるスポンジクッション付き）
  - ② ケミカルライト1点（約12時間持続）
  - ③ 防水ケース2点（[大] B5サイズ・パスポート／[小] 携帯電話サイズ）
- ※ 防水ケース[小]は、ライフジャケットのアームポケットに入るサイズです



## 3 着用方法

本製品は、カンタンに素早く着用することができます。

- ① ショルダーパッドに  
両腕を通します。



- ② 胸部固定バックルを閉めて、  
胸部で固定してください。



- ③ ライフジャケットが脱げないよう、  
調節ベルトで  
ベルトの長さを調節してください。



**警告**

気室を破損させる恐れのあるものは、着用前に衣服より取り除いてください。

## 4 作動方法

本製品は、自動膨張、手動膨張、2種類の方法により膨張します。

### 〈自動膨張〉

本製品が5秒以上水没した場合、自動ガス充填装置の落水センサーが反応・作動し、炭酸ガスボンベから気室に炭酸ガスが充填され、自動的に膨張します。

### 〈手動膨張〉

手動動作動索を  
下方向に強く引っ張ります。  
引っ張ってから  
約10秒で膨張します。  
(炭酸ガスボンベによる膨張)



**警告**

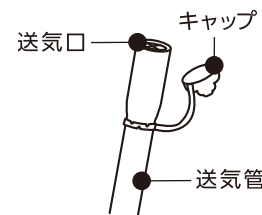
万が一自動で膨張しない場合や、  
膨張するまでに時間がかかる場合は、  
速やかに手動膨張させてください。

## 《膨らみが足りない場合》補助送気管による膨張

呼吸による膨張



補助送気管に  
吹き込みます。



- ① 補助送気管の  
キャップを外します。



- ② 送気口から空気を  
吹き込んでください。



- ③ 使用後はキャップを  
閉じてください。



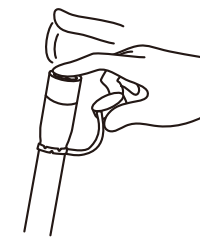
**注意**

炭酸ガスには透過性があるため、気室の膨らみは少しずつ減少します。  
また、外気温・水温によっても膨らみが減少する場合があります。  
膨らみが足りなくなった場合は、補助送気管から空気を吹き込み、補充してください。

## 《補助送気管の排気方法》



- ① 補助送気管のキャップを外し、  
キャップを裏返しにして  
差し込んでください。



- ② 排気後、吹き込み口内の  
逆止弁を軽く押して、  
バネが動くことを  
確認してください。



**注意**

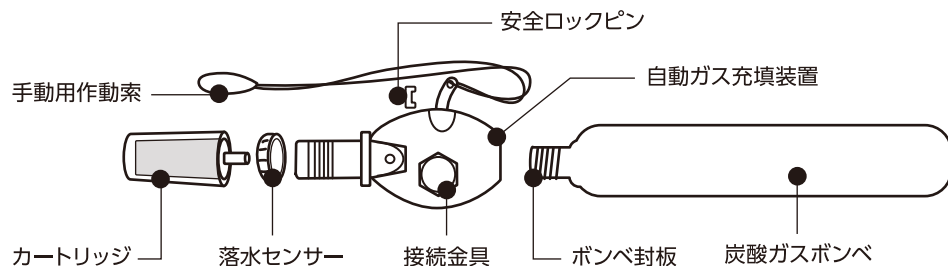
排気する時に、棒やペン等を差し込まないでください。  
送気管内の弁が破損する恐れがあります。



**警告**

排気後に逆止弁が動かず、下がったままになってしまった場合、使用を停止し、販売店を通じて修理を依頼してください。そのまま使用を続けると、次に膨張させた際に空気が漏れ、救命具として機能しなくなる恐れがあります。

## 5 自動ガス充填装置



### ⚠ 注意

本製品の使用前には各部品に損傷や劣化がないか確認してください。もし異常が認められた場合、ただちに使用を中止し総販売元を通じて点検を依頼してください。重大な事故につながる恐れがありますので、そのまま使用することはしないでください。

### ⚠ 注意

- 炭酸ガスボンベ、落水センサーは必ず TSUNA GUARD 専用のものを使用してください。
  - 炭酸ガスボンベ、落水センサーはお買い上げから2年ごとを目安に交換してください。  
( 交換用ボンベキットは別売 成人用¥3,780(税込) 子供用¥3,675(税込)  
代金引換にてお送り致します )
- ※ 送料と代金引換手数料はお客様負担となります。 ※ 上記の税込金額は、消費税5%として表記しております。

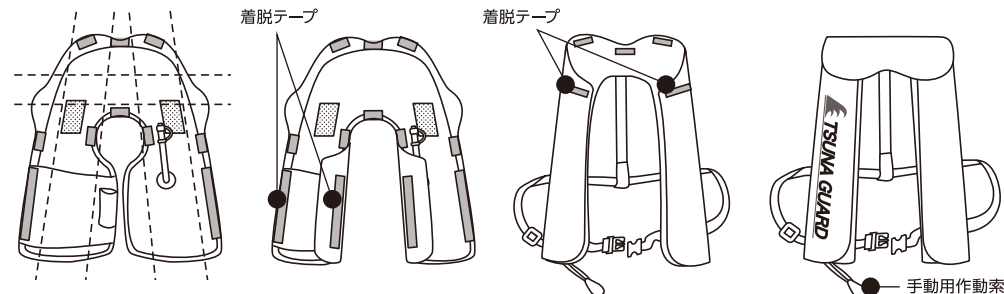
## 6 点検

〈 自主点検 〉 年に1回必ず行ってください。項目と内容については自主点検チェックリストに基づいてください。

本製品に付属する炭酸ガスボンベおよび落水センサーの有効使用期間は2年です。必ず炭酸ガスボンベに明記されている使用有効期限内に別売の交換用ボンベキットを用いて交換してください。交換する際、交換前の状態で手動作用動索をひっぱり、本製品を膨張させて空気漏れがないかを点検してください。( 膨張させたまま24時間放置し空気がもれていないか確認してください ) 点検後、異常が無ければ取扱説明書に基づき送気口の逆止弁を押して気室から完全に空気を抜き、新しい炭酸ボンベおよび落水センサーに取り替えて元通りに折りたたんでください。

〈 保守点検 〉 炭酸ガスボンベ交換、落水センサー交換、  
点検は総販売元を通じて定期点検(有償)することをおすすめします。  
( 往復送料、代金引換手数料はお客様負担 )

## 7 気室の収納方法



- ① 山折、谷折の折線に従って、折ってください。
- ② 内側から先に折りたたんでください。
- ③ ②で折りたたんだ側の着脱テープと合わせるように折りたたんでください。
- ④ ③で折りたたんだ側の着脱テープと合わせるように折りたたんでください。

### ⚠ 警告

最後にもう一度、手動作用動索が外に出ていることを確認してください。非常時に手で膨張させることができない恐れがあります。

## 8 整備要項

本製品は、あなたの命を守るお手伝いをするためのものです。  
いつでも正確に機能させるために、正しく整備してください。

1. 気室が汚れた場合は、湿らせた布等で軽くたたいて汚れを落としてください。  
決して洗濯機で洗ったり、漂白剤やシンナー等の薬品で拭いたりしないでください。
2. リュックは水や湯での丸洗いはしないでください。軽い汚れは柔らかいブラシで落とすか、水もしくは薄めた中性洗剤を含んだ布等でふき取ってください。
3. 汚れを落とした後は、風通しのよいところに陰干しして乾燥させてください。  
ストーブやドライヤー、アイロン等は決して近づけないでください。

### ⚠ 警告

充填装置の接続金具は、出荷時に正しい強さで取りつけています。絶対に取り外したり締め込んだりしないでください。これにより正常に作動しなくなったり、ガスが漏れたりする恐れがあり、重大な事故につながる可能性があります。

## 9 保管方法



**警告**

次のような場所や条件での保管は絶対にしないでください。

製品の劣化を早めたり、救命具として機能しなくなる恐れがあります。

- 直射日光のあたる場所
- ストーブやヒーターの近く
- 気温または室温が40度以上になる場所
- 雨漏りする場所または多湿の場所
- 蒸気のあたる場所
- 他の物の下敷きになる場所
- ネズミや虫にかじられる恐れのある場所
- 寒暖差の激しい場所
- 無理に折りたたんだでの保管
- 濡れたままでの保管



**注意**

車両内など高温多湿になる可能性のある場所で保管する場合は、必ず自動ガス充填装置のカートリッジと落水センサーを外して保管してください。この場合手動膨張となります。再度取りつけの際は、本紙5の「自動ガス充填装置」の構造図を参考に、落水センサー・カートリッジの順に装着してください。  
※ 装着の際は、自動ガス充填装置側の凸部に落水センサーの溝を合わせて、しっかりと取りつけてください。

## 10 製品の買換え・修理の目安



**注意**

次のような状態が発生した場合、製品を買い換えるか、修理を依頼してください。

- 充填装置が破損している時
- 補助送気管が折れたり、破損している時
- 他気室が変色している時
- 気室に傷が見つかった時
- カバーが破損している時
- ベルトが破損している時
- バックルが破損している時



**警告**

改造は絶対にしないでください。特に気室を損傷させる恐れのあるワッペンやピンオンリール等は取り付けしないでください。



**注意**

充填装置が濡れたり、汚れたりした場合、必ず水分や付着物を拭き取り、常に清潔な状態にしておいてください。

## 11 自主点検チェックリスト

年に1回は必ず下表のチェックリストで点検してください。

総販売元を通じて定期点検（有償）することをおすすめします。

| 部 位          | 点検項目           | 内 容                                                                                                                                                                             | 点検日   |
|--------------|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| カバー          | 目視点検           | 生地・縫製部等に損傷、劣化はないか                                                                                                                                                               | 年 月 日 |
| ベルト          | 目視点検           | 生地・縫製部等に損傷、劣化はないか                                                                                                                                                               | 年 月 日 |
| バックル         | 目視点検           | 割れ、損傷、劣化はないか                                                                                                                                                                    | 年 月 日 |
| 本体気室         | 目視点検<br>機能点検   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 破れ、損傷、劣化、着剥れはないか</li> <li>● リフレクターは剥がれていないか</li> </ul>                                                                                 | 年 月 日 |
|              | 漏洩点検<br>(半年1回) | 補助送気管より呼気で気室を完全に膨張させて24時間放置後、圧力が抜けていないか                                                                                                                                         | 年 月 日 |
| 自動ガス<br>充填装置 | 目視点検           | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 手動作動素が正しい位置にあるか</li> <li>● 締め付けナットが緩んでいないか</li> <li>● 撃針先端が損傷、摩耗していないか</li> <li>● 作動索を引いて撃針が機能しているか</li> <li>● ロックピンがついているか</li> </ul> | 年 月 日 |
| 炭酸<br>ガスボンベ  | 目視点検           | <ul style="list-style-type: none"> <li>● ボンベの封板に穴が開いていないか</li> <li>● 充填装置に緩みなく取り付けられているか</li> <li>● 損傷、錆、劣化はないか</li> </ul>                                                      | 年 月 日 |
| 補助送気管        | 目視点検           | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 損傷、劣化、ひび割れ、緩み等はないか</li> <li>● キャップが取り付けられているか</li> </ul>                                                                               | 年 月 日 |
|              | 機能点検           | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 呼気で正常に作動するか</li> <li>● 逆止弁が正常に作動するか</li> </ul>                                                                                         | 年 月 日 |
| ホイッスル        | 機能点検           | 音が出て、ひもでつながっているか                                                                                                                                                                | 年 月 日 |
| 反射テープ        | 目視点検           | 剥れ、劣化等はないか                                                                                                                                                                      | 年 月 日 |